

紀元前220年頃、秦の始皇帝の命を受け、不老不死の妙薬を求めて日本に上陸した徐福(じょふく)という人物がいました。謎に包まれた徐福が日本にもたらしたもののや出生の秘密、藤沢との繋がりなど、長年にわたり徐福を研究してこられた方々に語り合っていました。

■ご出席者
齋木雲州さん…日本史家
富士林雅樹さん…日本史家
田島孝子さん…(神奈川徐福研究会 会長)

古代史ロマン ～徐福伝説とは何か～

座談会

不老不死の妙薬を探して来日した徐福伝説をめぐって

田島 秦の始皇帝より不老不死の妙薬を持ち帰るよう命を受けた徐福は、上陸に際しての逸話が日本各地に残されていますが、こ藤沢にも繋がりがありません。

徐福と藤沢

藤沢本町に妙善寺(みよぜんじ)というお寺があり、境内には稲荷神社があります。妙善寺には徐福の子孫とされる福岡家のお墓もあって、それは立派なものでした。そこに建てられた石碑には「徐福」とはっきり記されていて、「福」という文字は徐福に由来するものだ、ということも記されています。以前、そこに置かれた徐福と思われる木像を見せていただく機会もありましたが、その姿は日本で一般的に見られる像とは雰囲気違って、衣装も中国風のものでした。妙善寺のご住職と面会させていただくうちに、この像は徐福かもしれない、と仰っていました。何を祭っているかはよく分からないが、とにかく拜んでこられたそう(笑)。

富士林 徐福は、秦の国(当時の中国)の道師だといわれています。道師とは、道教教を伝ふる師匠という意味で、今日の宗教家のあたります。秦の始皇帝が中国を統一した後で、山東(しゃんとん)半島をまわった際に、「海に向こうに盛気楼のようなものが見えるがあれは何か」と問うたそうです。それに対し、「あれは蓬莱(ほうらい)の国です」といっています。

富士林 徐福は、二度に渡った後で、山東(しゃんとん)半島をまわった際に、「海に向こうに盛気楼のようなものが見えるがあれは何か」と問うたそうです。それに対し、「あれは蓬莱(ほうらい)の国です」といっています。

富士林 徐福は、二度に渡った後で、山東(しゃんとん)半島をまわった際に、「海に向こうに盛気楼のようなものが見えるがあれは何か」と問うたそうです。それに対し、「あれは蓬莱(ほうらい)の国です」といっています。

富士林 徐福は、二度に渡った後で、山東(しゃんとん)半島をまわった際に、「海に向こうに盛気楼のようなものが見えるがあれは何か」と問うたそうです。それに対し、「あれは蓬莱(ほうらい)の国です」といっています。

齋木雲州さん 徐福は、秦の国(当時の中国)の道師だといわれています。道師とは、道教教を伝ふる師匠という意味で、今日の宗教家のあたります。秦の始皇帝が中国を統一した後で、山東(しゃんとん)半島をまわった際に、「海に向こうに盛気楼のようなものが見えるがあれは何か」と問うたそうです。それに対し、「あれは蓬莱(ほうらい)の国です」といっています。

齋木雲州さん 徐福は、秦の国(当時の中国)の道師だといわれています。道師とは、道教教を伝ふる師匠という意味で、今日の宗教家のあたります。秦の始皇帝が中国を統一した後で、山東(しゃんとん)半島をまわった際に、「海に向こうに盛気楼のようなものが見えるがあれは何か」と問うたそうです。それに対し、「あれは蓬莱(ほうらい)の国です」といっています。

齋木雲州さん 徐福は、秦の国(当時の中国)の道師だといわれています。道師とは、道教教を伝ふる師匠という意味で、今日の宗教家のあたります。秦の始皇帝が中国を統一した後で、山東(しゃんとん)半島をまわった際に、「海に向こうに盛気楼のようなものが見えるがあれは何か」と問うたそうです。それに対し、「あれは蓬莱(ほうらい)の国です」といっています。

齋木雲州さん 徐福は、秦の国(当時の中国)の道師だといわれています。道師とは、道教教を伝ふる師匠という意味で、今日の宗教家のあたります。秦の始皇帝が中国を統一した後で、山東(しゃんとん)半島をまわった際に、「海に向こうに盛気楼のようなものが見えるがあれは何か」と問うたそうです。それに対し、「あれは蓬莱(ほうらい)の国です」といっています。

齋木雲州さん 徐福は、秦の国(当時の中国)の道師だといわれています。道師とは、道教教を伝ふる師匠という意味で、今日の宗教家のあたります。秦の始皇帝が中国を統一した後で、山東(しゃんとん)半島をまわった際に、「海に向こうに盛気楼のようなものが見えるがあれは何か」と問うたそうです。それに対し、「あれは蓬莱(ほうらい)の国です」といっています。

齋木雲州さん 徐福は、秦の国(当時の中国)の道師だといわれています。道師とは、道教教を伝ふる師匠という意味で、今日の宗教家のあたります。秦の始皇帝が中国を統一した後で、山東(しゃんとん)半島をまわった際に、「海に向こうに盛気楼のようなものが見えるがあれは何か」と問うたそうです。それに対し、「あれは蓬莱(ほうらい)の国です」といっています。

田島 徐福の子孫は西暦800年頃には富士山の麓に住み、秦氏と名乗っていました。延暦大噴火の際に今日の神奈川県秦野市や寒川町の辺りに避難してきま

田島 徐福の子孫は西暦800年頃には富士山の麓に住み、秦氏と名乗っていました。延暦大噴火の際に今日の神奈川県秦野市や寒川町の辺りに避難してきま

田島 徐福の子孫は西暦800年頃には富士山の麓に住み、秦氏と名乗っていました。延暦大噴火の際に今日の神奈川県秦野市や寒川町の辺りに避難してきま

田島 徐福の子孫は西暦800年頃には富士山の麓に住み、秦氏と名乗っていました。延暦大噴火の際に今日の神奈川県秦野市や寒川町の辺りに避難してきま

田島 徐福の子孫は西暦800年頃には富士山の麓に住み、秦氏と名乗っていました。延暦大噴火の際に今日の神奈川県秦野市や寒川町の辺りに避難してきま

田島 徐福の子孫は西暦800年頃には富士山の麓に住み、秦氏と名乗っていました。延暦大噴火の際に今日の神奈川県秦野市や寒川町の辺りに避難してきま



稲荷神の木像 (妙善寺)

また、日本の北方にはないと思います。海岸では、富士林 徐福が上陸した時期と、縄文文化から弥生文化の海部氏化に移り変わる時期は、(あまべうど重なっていますね。弥生時代からは貝塚が極端に減っているというの興味深いです。田島 秦の始皇帝がユダヤ人である可能性も様々な書物に書かれています。彼は丸漢民族と違って白人のような肌色をしていたため、そ



齋木雲州さん



富士林雅樹さん



徐福が乗ってきたとされる船のイメージ

す名称だといえますね。ちなみに、佐賀県にも同じ名前の神社があります。また、そのすぐ近くの川州(かわす)には、「浮州(うきす)神社」があります。道教では、蓬莱の国というのは海に浮かんでいるものだと考えられてきました。川に浮かぶ浮州神社は蓬莱の国を現したものだといえるでしょう。その他、出雲大社の近く不老山というのもあり、不老不死の妙薬を求めてきた徐福に関係のあ